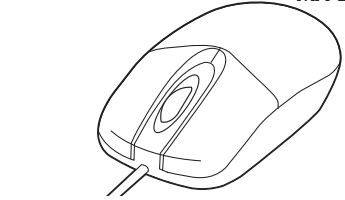


有線レーザーマウス取扱説明書

MA-LS22シリーズ



- 最初にご確認ください。
- 有線レーザーマウス…………… 1台
 - 取扱説明書(本書)…………… 1部

*万一、足りないものがございますら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- はじめに
- 安全にご使用いただくために
- 電波障害自主規制について
- 健康に関する注意
- 対応機種・対応OS
- 接続する前に必ずお読みください
- マウスの接続
- 本製品の使用方法
- 保証規定

1.はじめに

このたびは、有線レーザーマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、高性能レーザーセンサーエンジンを搭載した次世代のマウスです。光学センサーでは識別しにくかった光沢感のある素材の表面を読み取ることが可能で、様々なシーンで威力を発揮します。本製品は、Windows標準ドライバでスクロール機能がそのまま使えるから、面倒なソフトのインストールが必要ありません。

※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元にご置き、いつでも確認できる様にしておいてください。



2.安全にご使用いただくために

本製品は、IEC60825-1 Edition 1.2²⁰⁰⁰、JIS規格クラス1レーザープロダクトに準拠しています。本製品は通常の使用においては、きわめて安全ですが、使用上の注意を守って正しくお使いください。
●レーザーセンサーをずっと見たり、他人の目に向けしないでください。
●製品を分解したり、改造したりしないでください。
●0℃～40℃の気温環境でお使いください。
●本製品に衝撃を加えないようご注意ください。
●保証規定を読み、正しくお使いください。

3.電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品をラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に記して正しい取扱いをしてください。

4.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては識別しにくかった光沢感のある素材の表面を読み取ることが可能で、様々なシーンで威力を発揮します。本製品は、Windows標準ドライバでスクロール機能がそのまま使えるから、面倒なソフトのインストールが必要ありません。
※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元にご置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

5.対応機種・対応OS

- 対応機種
■Windows搭載(DOS/V)パソコン、NEC PC98-NXシリーズ
●Apple Macシリーズ
※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。
■対応OS
Windows 7・Vista・XP・2000・Me・98SE・98及びMac OS X(10.2以降)
※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。また、ホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
※機種により対応できないものもあります。
※この文章中に表記されるその他の製品の製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

6.接続する前に必ずお読みください

■本製品をUSBポートに接続する際の注意
本製品はWindowsなどにおいて自動認識され使用可能となります。もし、本製品が正常に動作しない場合、USBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。
[スタート]→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]→[システム]の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。

また、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

- BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合
- BIOS上のUSBをenable(ネーブル=有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが、詳細な設定については、コンピュータ本体の取扱説明書をご覧ください。

7.マウスの接続

※重要:マウスを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検知ソフトの常駐ファイルなど)を終了させておくことをお薦めします。
本製品はUSBインターフェースに対応したマウスですので、接続は次のように行います。接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

■Windowsに接続する場合

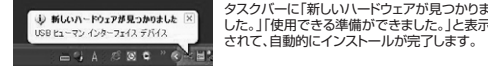


- ①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
- ②本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。インストール作業中は、マウスを動かさないでください。

<Windows 7・Vistaの場合>

タスクバーに「デバイスドライバ(ソフトウェア)をインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

<Windows XP・2000・Meの場合>



<Windows 98SE・98の場合>

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。



- 新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ

7.マウスの接続 (続き)



※もし検索場所を聞いてきたら
 検索場所の設定(L)
 C:\WINDOWS\OPTION\SYSTEM\INF

※もし、上記の検索場所で見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、
 CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



- 検索方法を選択してください。
- 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ

- 新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(☑)を入らずに ----- 次へ

- 次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ

- USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 完了

■Macに接続する場合(Mac OS X)

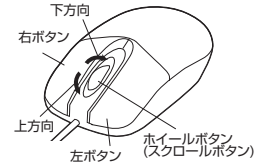
Mac OS X(10.3以降)は、標準でインストールされているSafari、Mail、Text EditおよびFinderなど、OS標準ドライバで、スクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。また、ホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
①コンピュータの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動させます。
②本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
③ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。

8.本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール機能(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます)が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。Microsoft IntelliMouse互換機能も持っていますので、MS OfficeのようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。

■左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きやポップアップメニューの表示をすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。



■ホイール(スクロール)
インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

■ホイールボタン(スクロールボタン)
インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めたいには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ズーム
ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能です。MS Officeなどのアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモーター方向に回転させると、倍率が上がります。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。
■1600・800カウント(カーソルスピード)切替
左ボタン、ホイールボタン、右ボタンを一緒に(同時に)押すと、分解能を1600→800→1600に切替えることができます。

9.保証規定

- 1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がございました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2.次のような場合は保証期間内でも有償修理となります。
(1)保証書をご提示いただけない場合。
(2)所定の項目をご記入いただけなかった場合、あるいは文字を書き換えられた場合。
(3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
(4)故障の原因がお客様による過剰な衝撃による場合。
(5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理も受け付けかねます。
- 4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負いません。
- 5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしません。
- 6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の送料費用は、お客様のご負担となります。
- 8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

キトリ線

保証書 サンワサプライ株式会社

型番 MA-LS22 色

シリアルナンバー

お客様	お名前	
	ご住所	TEL
販売店	販売店名・住所・TEL	
	担当者名	

保証期間 6ヶ月 お買い上げ年月日 年 月 日

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

■サポート情報 ■よくある質問(Q&A)
■ドライバのダウンロード ■各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから ▼サポートページへ

各情報ページを直接ご覧いただくこともできます。

ご質問、ご不明な点などが
ありましたら、ぜひ一度
弊社WEBサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社 2012.3現在

- 岡山サプラセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
- 東京サプラセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8
TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
- 札幌営業所 / 〒706-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌
TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
- 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区権町11-6-37 栄栄台ビル
TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
- 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7 カジヤビル
TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
- 大阪営業所 / 〒752-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル
TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
- 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前中央9-20第2博多相互ビル
TEL.092-471-6721 FAX.092-471-6707